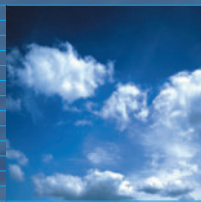




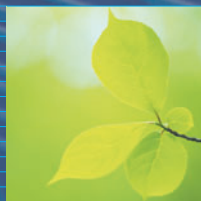
HOKURIKU

CSR報告書 2012

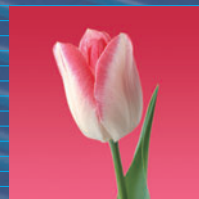
Hokuriku Electric Industry group CSR report 2012



Management



Environmental
report



Social report

北陸電気工業株式会社



Creation company of electronics

発行にあたって

北陸電気工業グループは、CSR推進を重要課題とさ
だめ、お客様、株主・投資家様、お取引先様、従業員、地
域社会をはじめとしたステークホルダーに配慮した経営
に取り組んでまいりました。本レポートの発行を通じて、そ
の取り組みをご理解いただき、同時に皆様とのコミュニケ
ーションの一助となれば幸いです。

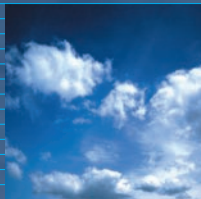
報告対象 北陸電気工業および北陸電気工業グループ会社
対象期間 2012年度(2011年4月1日~2012年3月31日)

北陸電気工業株式会社 CSR報告書 2012

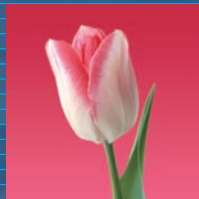
Hokuriku Electric Industry group CSR report 2012

目次

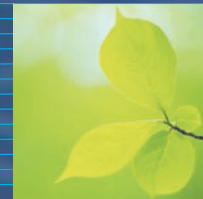
| | |
|---------------------|----|
| トップメッセージ | 1 |
| 北陸電気工業グループ概要 | 2 |
| マネジメント | |
| ■コーポレート・ガバナンス | 6 |
| ■コンプライアンス/リスクマネジメント | 7 |
| 社会報告 | |
| ■お客様の満足向上のために | 8 |
| ■株主・投資家の皆様とのかかわり | 10 |
| ■お取引先様とのかかわり | 11 |
| ■社員とのかかわり | 12 |
| ■社会貢献活動 | 14 |
| 環境報告 | |
| ■環境方針 | 16 |
| ■環境目標及び実績 | 17 |
| ■環境マネジメント | 18 |
| ■地球温暖化防止への取り組み | 19 |
| ■グリーン調達 | 19 |



Management



Social report



Environmental report

Hokuriku Electric Industry group **CSR report 2012**

トップメッセージ

事業継続について

昨年は、東日本大震災、タイ大洪水等の大きな自然災害が発生し、日本の製造業は大きな打撃を受けました。災害による部品供給の途絶が日本のみならず世界中の製造業の生産に大きな支障を与えたことは記憶に新しいことです。被災した企業は必死の思いで復旧・復興に取組み、生産体制を整えてきたものと思います。

今回の経験から、「災害は発生するものである。」との前提で日頃からの準備・訓練をかね合わせた計画が必要であるとあらためて考えさせられました。現代の製造業はサプライチェーンが正常に機能しなくては成り立たないものになっています。災害が発生した時、従業員の安全確保と二次災害の防止は何よりも実践されなければなりません。また、災害に伴う製造中断を回避し、お客様への製品の供給責任を果たすことが極めて重要な企業としての責任であると考えています。当社においては緊急事態対応規定と併せて事業継続計画（Business Continuity Plan）を定めて、従業員の安全確保はもとより、お客様・お取引様への連絡手段の確保と、事業の早期の復旧・復興を行いお客様への供給責任を果たすための手順を定めています。今後とも当社のステークホルダーに対する責任を果たすためにその内容をより一層充実させなければならないと考えています。

本報告書を通じて、北陸電気工業グループの社会的責任についての取組みをご理解いただければ幸いに存じます。



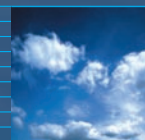
左より

北陸電気工業株式会社
代表取締役会長

野村 正也

代表取締役社長

津田 信治



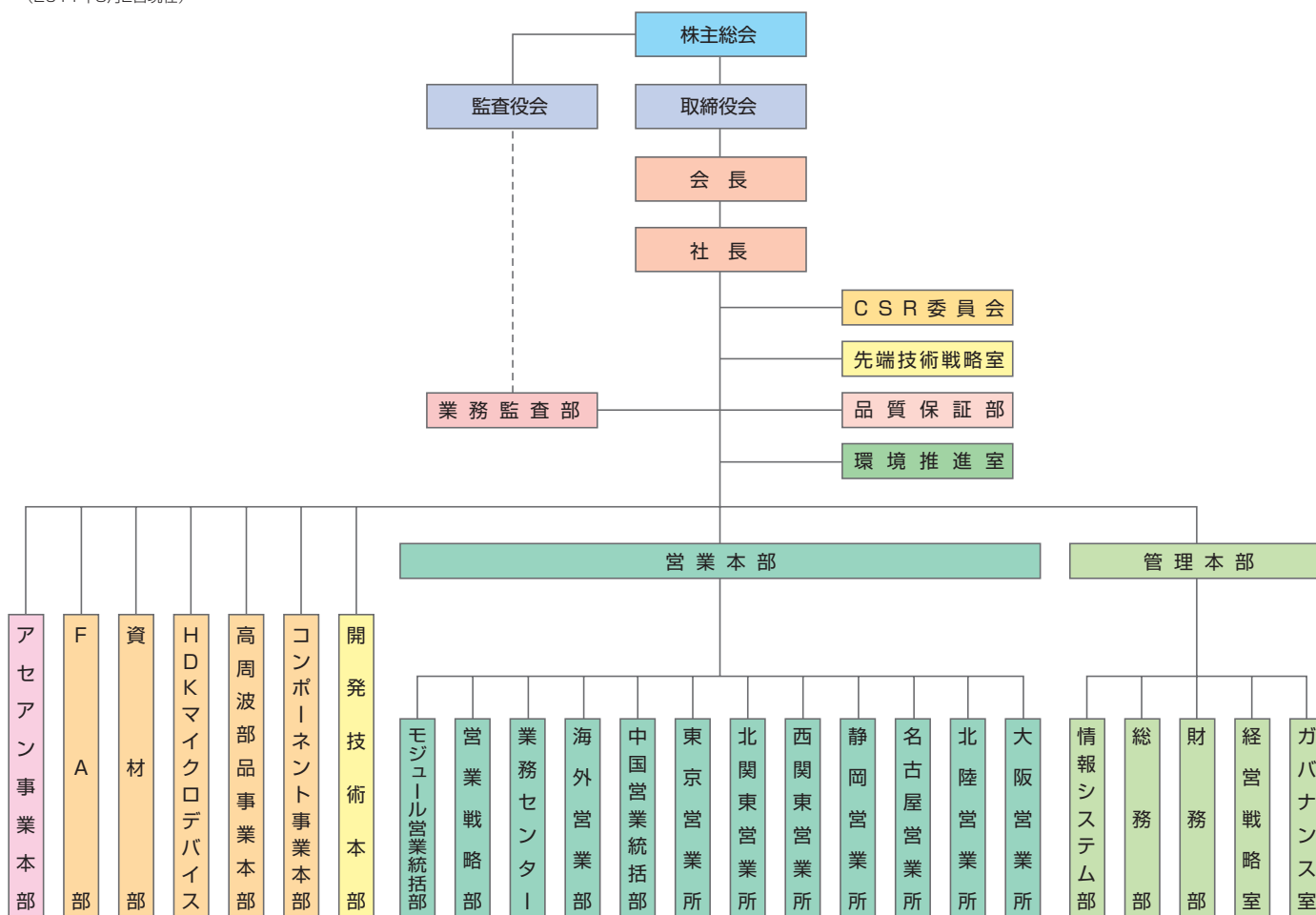
会社概要

| | | | |
|---------|--|-------------------|--|
| 社名 | 北陸電気工業株式会社 | 従業員数 | 連結:3,967名(2012年3月31日現在) 単体: 600名(2012年3月31日現在) |
| 本社 | 〒939-2292富山県富山市下大久保3158 TEL(076)467-1111 FAX(076)468-1508 | 営業品目 | ・固定、可変、チップ等各種抵抗器 ・圧力、加速度、湿度等各種センサ ・モジュール製品、ハイブリッドIC 温度補償型水晶発振器 ・ペーストスルーホール基板、圧電製品 ・サーミスタ・センサ・バリスタ(仕入販売製品) |
| 設立 | 1943年(昭和18年)4月4日 | 北陸電気工業 グループ会社数 | 国内:9社 海外:12社 内、連結子会社:17社 |
| 資本金 | 52億円 | | |
| 発行済株式総数 | 92,500,996株 | | |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第一部(証券コード:6989) | | |
| 売上高 | 連結:38,645百万円(2012年3月期) 単体:31,285百万円(2012年3月期) | | |

(2012年3月31日現在)

会社組織図

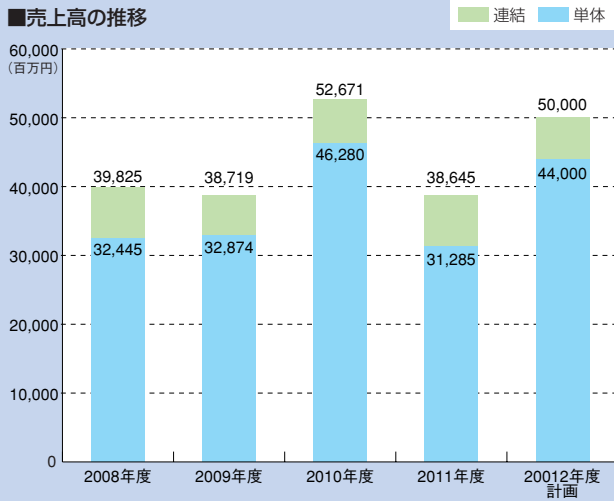
(2011年8月2日現在)



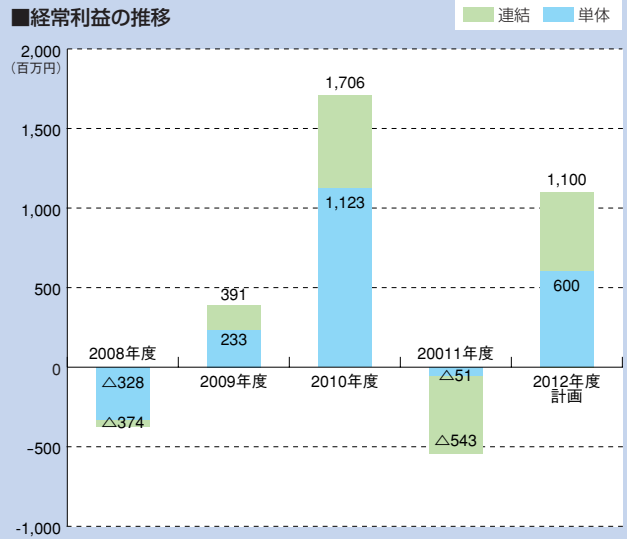


財務概況

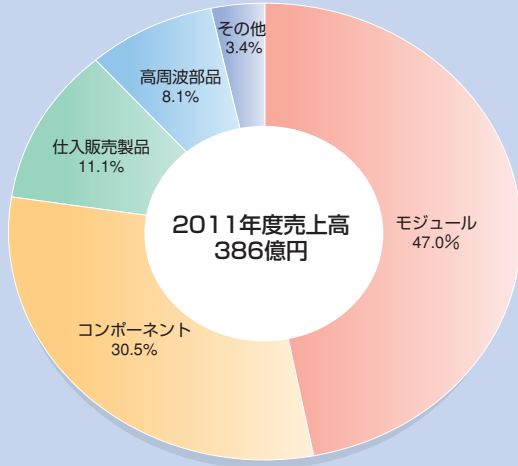
■売上高の推移



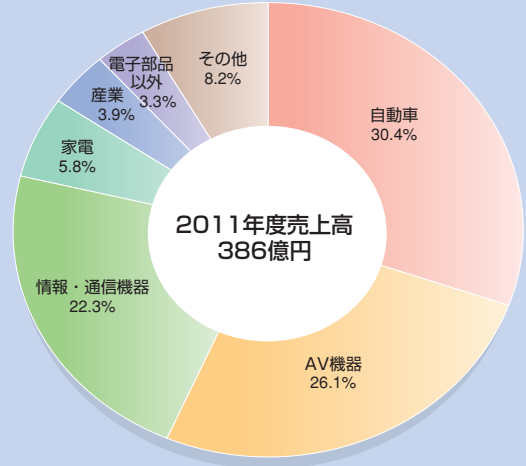
■経常利益の推移



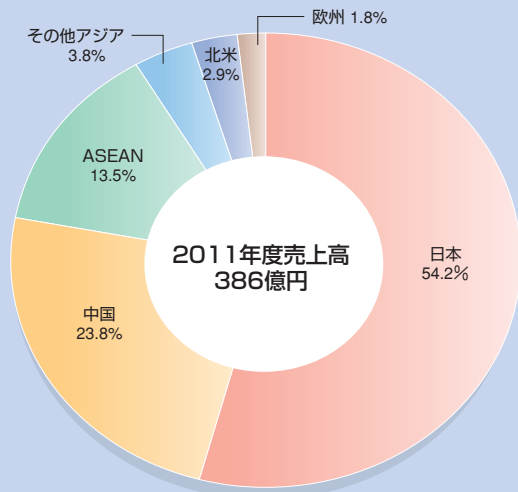
■2011年度 事業分野別売上高比率



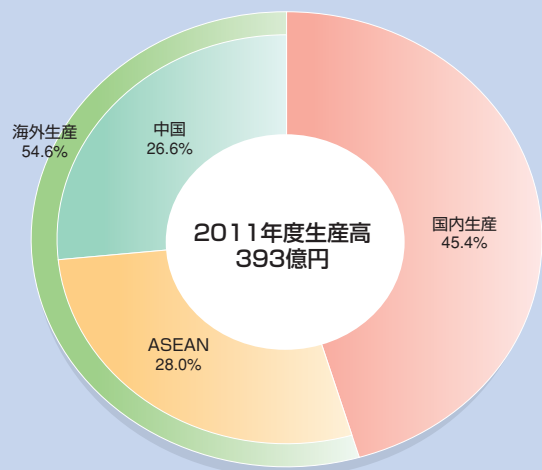
■2011年度 市場分野別売上高比率

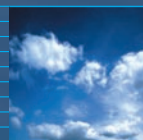


■2011年度 国別売上高比率



■2011年度 海外生産高比率





ネットワーク

■…本社 ■…製造の拠点 ■…販売の拠点



国内拠点

本社

■営業本部(営業サポート部)・開発技術本部
管理本部
〒939-2292 富山県富山市下大久保3158
TEL (076) 467-1111 FAX (076) 468-1508

高周波部品事業本部

■高周波部品工場
〒939-2292 富山県富山市下大久保3158
TEL (076) 467-1111 FAX (076) 468-0639

■圧電工場

〒939-2184 富山県富山市楡原西上島3175
TEL (076) 485-2211 FAX (076) 485-2302

コンポーネント事業本部

■機構部品工場
〒939-2292 富山県富山市下大久保3158
TEL (076) 467-1111 FAX (076) 468-2214

■皮膜工場

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158
TEL (076) 467-1111 FAX (076) 468-2214

■PRC工場

〒930-0275 富山県中新川郡立山町利田297-1
TEL (076) 464-1265 FAX (076) 463-3694

■楡原工場

〒939-2184 富山県富山市楡原西上島3175
TEL (076) 485-2101 FAX (076) 485-2103

営業部・営業所

■東京営業所
〒145-0072 東京都大田区田園調布本町46-14
TEL (03) 3722-1341 FAX (03) 3722-1348

■北関東営業所
〒360-0033 埼玉県熊谷市曙町4-20
TEL (048) 522-4155 FAX (048) 522-5759

■西関東営業所
〒191-0062 東京都日野市多摩平2-12-4
大増家ビル2F
TEL (042) 581-7671 FAX (042) 581-7803

■名古屋営業所
〒465-0000 愛知県名古屋市名東区猪高町大字藤森字森44-1
TEL (052) 775-6131 FAX (052) 775-6133

■静岡営業所
〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町2-3
アズマビル3F
TEL (054) 285-8838 FAX (054) 285-8839

■北陸営業所
〒939-2292 富山県富山市下大久保3158
TEL (076) 467-1964 FAX (076) 467-1965

■大阪営業所
〒573-0065 大阪府枚方市出口3-1-21
TEL (072) 833-8461 FAX (072) 833-8466

■海外営業部
〒145-0072 東京都大田区田園調布本町46-14
TEL (03) 5483-3001 FAX (03) 3722-7118

国内関係会社

■HDKマイクロデバイス株式会社
〒930-0814 富山県富山市下富居2-12-15
TEL (076) 443-9450 FAX (076) 443-9610

■朝日電子株式会社
〒939-0722 富山県下新川郡朝日町大家庄358-1
TEL (0765) 82-1740 FAX (0765) 82-1739

■北陸アイシー株式会社
〒930-0814 富山県富山市下富居2-12-15
TEL (076) 443-9450 FAX (076) 443-9610

■北陸精機株式会社
〒939-3555 富山県富山市水橋市田袋1-1
TEL (076) 479-1625 FAX (076) 479-1626

■北陸興産株式会社
〒939-3555 富山県富山市水橋市田袋1-1
TEL (076) 479-1808 FAX (076) 479-1807

■ダイワ電機精工株式会社
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原673-23
TEL (048) 532-7100 FAX (048) 530-5151

■呉羽セラミック株式会社
〒930-0106 富山県富山市高木西163
TEL (076) 436-1500 FAX (076) 434-4895

■菱北電子株式会社
〒931-8455 富山県富山市晴海台8-5
TEL (076) 438-7370 FAX (076) 438-7371



本社



東京営業所



大阪営業所



PRC工場

HDKマイクロデバイス株式会社

朝日電子株式会社

庄電工場

楡原工場



上海広電北陸微電子



北電マレーシア



天津北陸電気有限公司



MD Tech Phils., INC



HDKタイランド



東莞東坑北陸電気廠

海外拠点

■Hokuden(Malaysia) Sdn. Bhd.
 PTB 111, 244-250 Jalan Tun Mutalib 3,
 81440 Bandar Tenggara,
 Johor Darul Takzim, Malaysia
 Phone:60-7-896-3200
 Facsimile:60-7-896-3199

■HDK(Thailand) Co., Ltd.
 Hi-Tech Industrial Estate, Duty Free Zone 801
 Mool Tambol Baanlane, Amphur Bangpa-In,
 Ayudhaya Province, Thailand
 Phone:66-3535-0233
 Facsimile:66-3535-0232

■Tianjin Hokuriku Electric Industry Co., Ltd.
 No.2,Bao Yuan Road, Jinnan Economic
 Development Area, Jinnan-Qu,Tianjin, China
 Phone:86-22-8851-9787
 Facsimile:86-22-8851-6813

■Hokuriku(Dongguan) Co., Ltd.
 Jiao-She Zone, Dong-Keng Town,
 Dong-Guan, Guang Dong, China
 Phone:86-769-83381868
 Facsimile:86-769-83880629

■Suzhou Daiwa Precision Module Co., Ltd.
 20 Pingjiaxiang, Qimen Road, Suzhou,
 Jiangsu, China
 Phone:86-512-6752-1226
 Facsimile:86-512-6752-3506

■SVA-Hokuriku Micro Devices Co.,Ltd.
 No.428 Tian Ying Rd. QingPu Industrial Park,
 Shanghai, China
 Phone:86(21)-6922-5228
 Facsimile:86(21)-6922-5298

■MD Tech Phils.,INC.
 Main Avenue Corner 3rd Street,
 Rosario, Cavite 4106, Philippines
 Phone:046-437-0628 to 0631
 Facsimile:046-437-1776

■HDK America Inc.
 215 South Northwest Highway, Suite 202B
 Barrington, Illinois 60010, U.S.A.
 Phone:1-847-382-9411
 Facsimile:1-847-382-9412

■HDK China Ltd.
 Section C, 4/F., Niche Center,
 14 Wang Tai Road, Kowloon Bay,Kowloon,
 Hong Kong
 Phone:852-2-318-0997
 Facsimile:852-2-318-0932

■Hokuriku(Shanghai) International
 Trading Co., Ltd.
 Unit 17A1.No585, Hua Fu Building,
 Long Hua West Road, Shanghai, China
 Phone:86-21-6428-6448
 Facsimile:86-21-6469-4498

■Hokuriku(Shanghai) International Trading Co., Ltd.
 Wuxi Representative Office
 Room 714. Baishida Building, Changjiang North
 Road, Wuxi, Jiangsu, 214028 China
 Phone:86-510-8525-9973
 Facsimile:86-510-8525-9913

■Hokuriku(Shanghai) International Trading Co., Ltd.
 Nanjing Representative Office
 Room 808. Golden Wheel International Plaza,
 No.8 Hanzhong Road, Gu Lou District, Nanjing,
 Jiangsu 210029 China
 Phone:86-25-8477-3576
 Facsimile:86-25-8477-3565

■Hokuriku Hong Kong Co., Ltd.
 Unit 2-3,9F, Fook Hong Ind. Building, 19
 Sheung Yuet Road, Kowloon Bay, Kowloon,
 Hong Kong
 Phone:852-2-755-8073
 Facsimile:852-2-795-7199

■Hokuriku(Singapore) Pte., Ltd.
 2Jurong East St.21 #04-02B, IMM Building
 Singapore 609601
 Phone:65-6861-0995
 Facsimile:65-6861-3664

■Hokuriku European Liaison Office
 Av. Marti Pujol 194s/At.-1, 08911-Badalona,
 Spain
 Phone:34-609-302-996
 Facsimile:34-934-640-223

コーポレート・ガバナンス

北陸電気工業グループは、コーポレート・ガバナンスを経営の最重要課題のひとつと認識し、健全で信頼される経営に取り組んでいます。

基本方針

経営の効率性・透明性を向上させ、株主・投資家様、お取引先様、従業員、地域社会等のステークホルダーの立場に立って、企業価値を最大化することをコーポレート・ガバナンスの基本方針としています。

取締役会

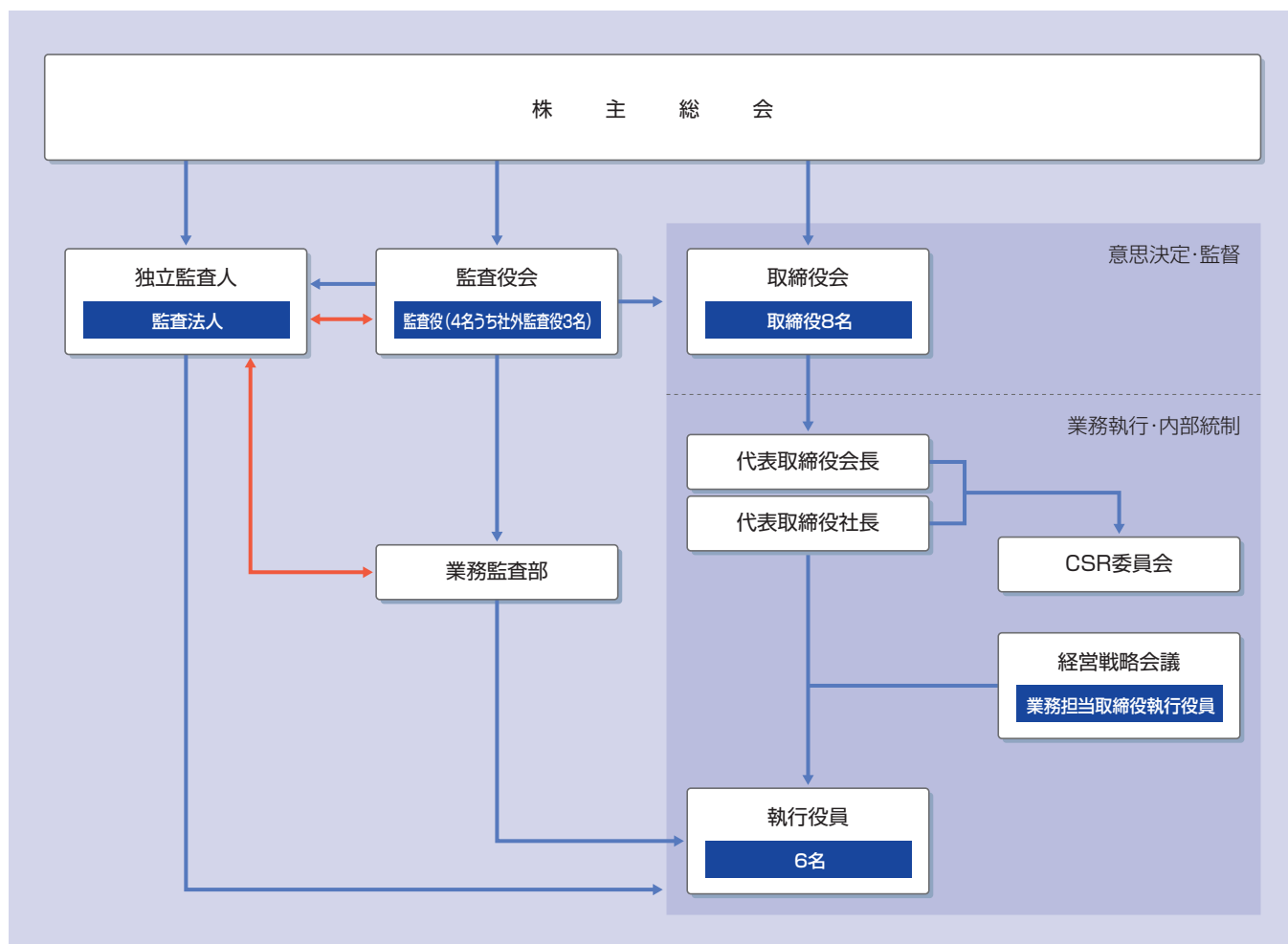
取締役会は、取締役8名で構成されており、ステークホルダーの視点を重視した経営の基本的な意思決定と業務執行の監督を行っています。また、重要な業務の迅速な執行を図るために、業務担当取締役および執行役員を中心として経営戦略会議を設置しています。

監査役会

監査役会は、監査役4名で構成されており、うち3名は社外監査役です。経営監視機能を充実させているとともに、随時、監査法人および業務監査部から報告および説明を受け、幅広く監査を実施しています。

内部監査部門

内部監査部門として業務監査部を設置しており、監査役会および監査法人と連携し関係会社を含めた業務の監査を行っています。また金融商品取引法に基づく内部統制報告書に係る内部統制の整備、運用を行います。



コンプライアンス／リスクマネジメント

北陸電気工業グループは、高い倫理観を持ってコンプライアンス（法令遵守）やリスク管理体制整備に取り組んでいます。

コンプライアンス基本方針

「北陸電気工業グループで働く役員および従業員は、企業の社会的責任を自覚し関係法令および社内規範を遵守することにより社会の信頼を得られる行動をとること」を行動規範に定め、その実践に努めています。

コンプライアンス部会

CSR委員会の中に、コンプライアンス部会を設置し、コンプライアンスの推進を図っています。

事業活動において遵守すべき基本方針として、北陸電気工業グループ行動憲章を策定し、国内はもとより中国語、英語に翻訳して海外関連会社のすべての役員および従業員に徹底しています。また北陸電気工業グループ行動憲章を実現するために、日常の業務のなかで遵守すべき行動の指針として北陸電気工業グループ行動規範を定めコンプライアンスの啓蒙と定着を進めています。

通報窓口の設置

コンプライアンスに関する相談または違反情報に対応するため、社内通報窓口を設置しています。

リスクマネジメント基本方針

会社の経営に重大な影響をもたらす事項を緊急事態と定義し、その予防に努めると同時に緊急事態が発生した場合の管理体制および事業継続計画を定めています。

リスクマネジメント緊急事態対策

緊急事態が発生した場合には、本社に対策本部を設置し、現場責任者が組織する現場対策委員が対策本部長の指示のもとで事態に対応します。緊急事態管理マニュアルの作成と社員教育により緊急事態発生時の初動動作と復旧活動を的確かつ迅速に行える体制をとっています。

事業継続計画（BCP）

地震等の災害が発生した際、従業員の安全確保と二次災害の発生を防止すること、また災害で被害を受けても重要業務を中断させないこと、お客様への製品の供給責任を果たすことが重要であり、事業継続計画を定めてその体制を整えています。



消防訓練

お客様の満足向上のために

北陸電気工業グループは、お客様のニーズと様々な要望に応える体制を構築し、幅広く収集した情報を基に、高品質で安全な製品設計と環境第一のもの作りを基本として、常にお客様の満足が得られる製品・サービスをW/Wで提供することをモットーとしています。

品質保証基本方針

**お客様・社会と共存共栄を基本信条に
品質保証基本方針を定め、実践しています。**

品質保証の基本(信条)

お客様・社会に満足してもらえる製品を提案し、提供することにより、共に繁栄を目指します。

品質保証基本方針

国際水準の品質設計及び社会的要求に応える品質設計
国際的な視野に立って、高度・多様な社会的要求にも応え得る新技術を開発し、蓄積された技術に裏づけされた品質設計を行います。

製品別品質管理体制の確立

製品別に開発から販売にいたる責任体制を構築し、市場の要求性能に合致した品質保証を行います。

源流での品質保証

プロセスの源流で品質を作り込みます。

サービスの徹底

誠実誠意のサービスを実践します。

国際規格の認証取得

品質の継続的改善に取り組んでいます。

国内・海外の生産拠点で、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001と、品質マネジメントシステムの国際規格ISO9001、自動車業界の国際規格であるISO/TS16949を認証取得しています。地球環境にやさしいもの作りと国際品質管理システムの下、3現主義で継続的に品質を改善しています。

北陸電気工業グループ 品質マネジメントシステム認証取得状況

| 事業所名 | ISO14001 2004 | ISO9001 2008 | ISO/TS16949 2009 |
|----------------|------------------|-----------------|---------------------|
| 北陸電気工業株式会社 | '05/05/27切替え | | |
| 高周波部品事業本部 | 同上 | '10/03/20切替え | |
| 機構部品工場 | 同上 | '10/05/08切替え | '10/04/28切替え |
| 皮膜工場 | 同上 | 同上 | |
| PRC工場 | 同上 | 同上 | |
| HDKマイクロデバイス(株) | 同上 | '08/12/11切替え | |
| 朝日電子(株) | '06/02/06切替え | '10/06/30切替え | '10/04/27切替え |
| 北電マレーシア | '05/10/29登録 | | '10/04/13切替え |
| 北陸電気(広東)有限公司 | '06/09/06切替え | '10/11/16切替え | |
| 天津北陸電気有限公司 | '07/10/16登録 | '10/10/26切替え | |
| HDKタイランド | '09/04/28登録 | '09/10/08切替え | |
| 上海広電北陸微电子 | '07/03/27登録 | '08/11/17切替え | |
| MDテック フィリピン | '06/03/16登録 | '10/04/28切替え | '10/04/17登録 |

2012年4月1日現在

製品認定システム

お客様のニーズを的確に捉え、構想設計から量産に至るまで各段階で設計審査を実施し、安全で環境にも対応した高品質の新製品を生み出すシステムを構築しています。

■製品開発認定フロー(本社認定対象品)





信頼性試験センター

お客様の品質要求に応えるために。

信頼性試験センターでは、環境試験設備、各種計測器を備え、設計から量産の各段階で作られた製品の長期信頼性試験、電気・物理的測定、定期試験などに常時対応しています。また、製造検査部門で使用する計測器類の定期校正を実施しています。新製品の開発、量産製品の性能や品質の解析のために各種分析設備を備え、社内の開発部門、製造部門をサポートするとともに、お客様の品質要求に応えています。

■試験設備

低温/高温/耐湿など各種環境試験槽



冷熱衝撃試験装置



HAST装置



複合(温湿度)振動試験装置



ガス腐食試験装置



衝撃試験機



引っ張り圧縮試験機



■校正設備

電気等校正システム



温度計校正装置



GPS時間/周波数基準レシーバ

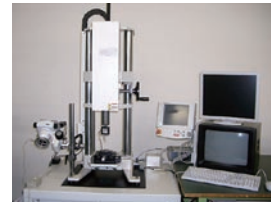


■分析設備

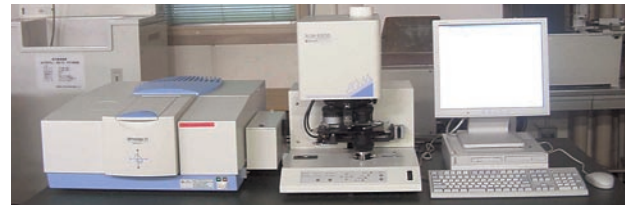
走査型電子顕微鏡



マイクロオトグラフ



フーリエ変換赤外分光分析装置 (FT-IR)



蛍光X線分析装置



はんだ濡れ性試験装置



苦情への対応

万一製品に不具合が発生した場合はお客様の窓口である営業部門、製造部門、品質保証部門などの全社対応で、不具合品の処置、原因の究明、対策の実施及び再発防止を迅速に実施します。

クレーム処理方針

- お客様第一主義とし、全社的臨戦体制で対応します。
- お客様の損失を最小限にするため迅速・的確な処理を行います。
- 真の原因を把握し、再発防止の確認が出来るまでフォローします。
- クレームの要因分析結果及び対策は、類似製品、他事業所等へ水平展開します。
- 改善活動の報告は、お客様の立場に立って情報を随時報告しお客様に活動状況が見えるような報告をします。

株主・投資家の皆様とのかかわり

北陸電気工業グループは、株主・投資家の皆さまに企業の概要、経営戦略、業績などの情報を適時かつ適切に開示するとともに、IR（インベスター・リレーションズ）活動を通じて積極的に株主・投資家の皆さまとコミュニケーションを図るよう取り組んでいます。

情報開示の基本方針

北陸電気工業グループは、株主や投資家、証券アナリストの皆さまに向け、証券取引法や上場している証券取引所の適時開示規則に基づき、公正かつ正確な情報を迅速に開示することが重要であると考えています。また、積極的な情報開示の継続により、経営の透明性を高めるとともに、適確な投資判断に必要な情報の開示に努めています。

IR活動

北陸電気工業グループでは、国内の機関投資家や証券アナリストの皆さまに対して、個別取材の対応により決算概要や事業環境、戦略製品の動向に関して説明させていただき、資本市場との直接対話に努めています。個別取材では、IR資料として四半期決算ごとに決算説明資料を作成し説明させていただいております。また、株主の皆様へは中間決算時と本決算時に「中間報告書」「報告書」を発行し送付させていただいております。

ホームページによる情報開示

北陸電気工業グループでは、個人株主・投資家の皆さまにもタイムリーに情報提供するため、ホームページにIR情報のページを設けています。IR情報のページには、決算短信、適時開示情報や業績推移をまとめた決算ハイライトなどを掲載しています。



会社案内



第78期 中間報告書



第78期 報告書

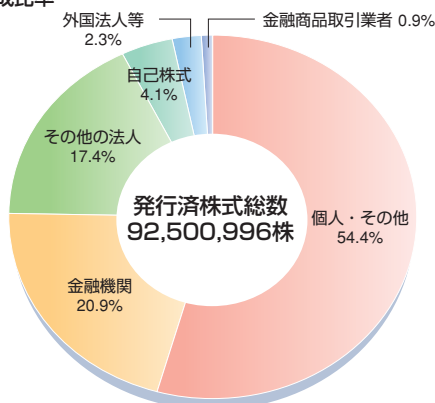


WEBサイト (IR情報)
http://www.hdk.co.jp/financ_i/fnc_ihtml

株主総会

北陸電気工業グループは、株主総会を株主の皆さまに当社経営の取り組みへの理解と支援をいただくための重要なコミュニケーションの場と考え、株主総会では、わかりやすく丁寧な説明を心がけております。また、株主の皆さまからより多くのご意見を頂戴できるよう、株主総会終了後の時間を利用して株主の皆さまとオープンな意見交換の場を設けており、当社をより身近に感じていただき、株主の皆さまから幅広いご意見やご質問を受け付けています。そこでいただいたご意見・ご要望は、企業活動に適切に反映させるよう努めています。

株主の構成比率



お取引先様とのかかわり

北陸電気工業グループではお取引先様との信頼関係を大切にし、共存共栄できる関係を築くことが重要であると考えています。常に真摯に話しあい、社会倫理にしたがって購買業務を遂行します。

購買方針

- 法令、社会規範を遵守し、モラル(倫理観、責任感)に基づいて行動します。
- 公平・公正・誠実に行動し、お取引先様と対等で良好な関係の構築を図ります。
- 資源保護や環境保全など企業の社会的責任を果たす努力をしています。
- お取引先様と友好的かつ、相互の信頼関係に基づき、強固なパートナーシップの構築、相互発展による共存共栄できる継続的な取引を行います。
- 購入する資材を、国内外問わず、品質、コスト、納期などから合理的に選択しています。
- 外貨(US\$)建て購入およびグローバル調達を推進します。
- お取引先様から知り得た情報を、自社内の同種の情報と同様に取り扱うとともに、承諾なしに第三者に開示しません。

グリーン調達

- 北陸電気工業グループでは、グリーン調達ガイドラインを策定し、お取引先様に対するグリーン調達を実施しています。
- 環境に配慮した購買業務に取り組むため、お取引先様と連携をとり環境負荷の少ない資材調達を行います。
- お取引先様に対し、環境監査を実施します。

CSR/BCM調達

- 環境関連活動、情報セキュリティ、災害対策において定期的にお取引先様から情報をとりよせ評価を行っております。
- お取引先様に対してもCSR/BCMに配慮した事業活動を積極的に行っていただけるようお願いしています。

方針説明会開催

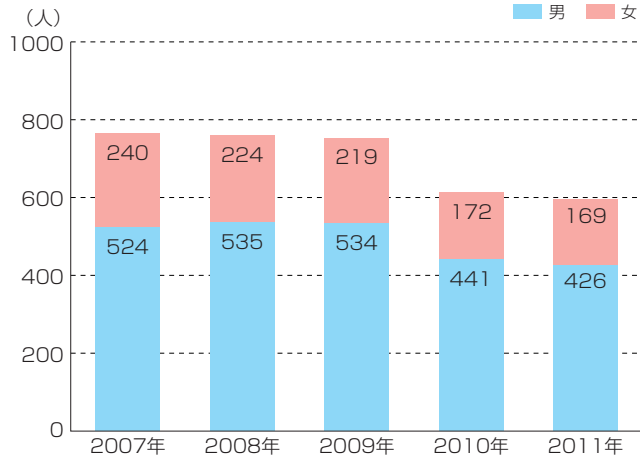
- 事業計画並びに購買方針につき説明会を開催し、お取引先様との相互理解を深め、共存共栄できる関係を築いています。



社員とのかかわり

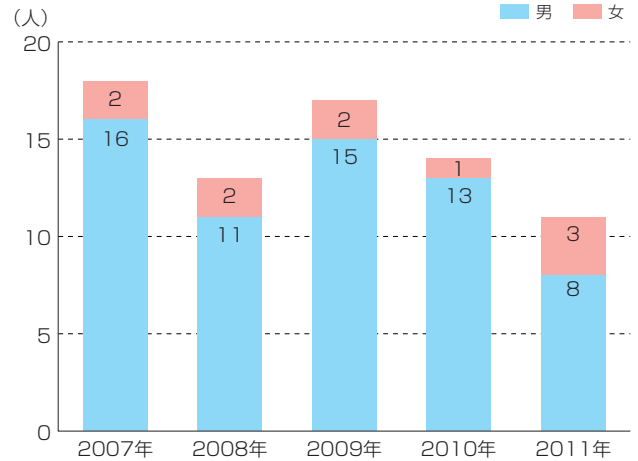
北陸電気工業グループでは、企業の持続的な成長を図る上で「企業は人なり」の言葉通り、人材を「人材」として捉え、一人一人の個性を大切に、社員が安心して生き活きと働ける企業風土づくりを目指しています。

■従業員数



※2010年度については、新会社設立に伴い人数が減少しています。

■新卒採用数



多様化への取り組み

少子高齢化社会を迎え、
多様な人材の活躍の場を広げ、
様々な社会変化に対応できる様、
取り組みを進めています。

仕事と家庭の両立支援

少子高齢化が急速に進む中、企業には従業員の仕事と子育ての両立（ワークライフバランス）を支援する取り組みが求められています。次世代育成支援対策推進法や改正育児介護休業法等に基づき取り組みを進め、社内制度を充実させています。子の家族手当の支給年齢上限を20歳までとしていましたが、2012年度より支給年齢上限を22歳までに引き上げました。また、不妊治療のための休暇や休業について制度化しました。

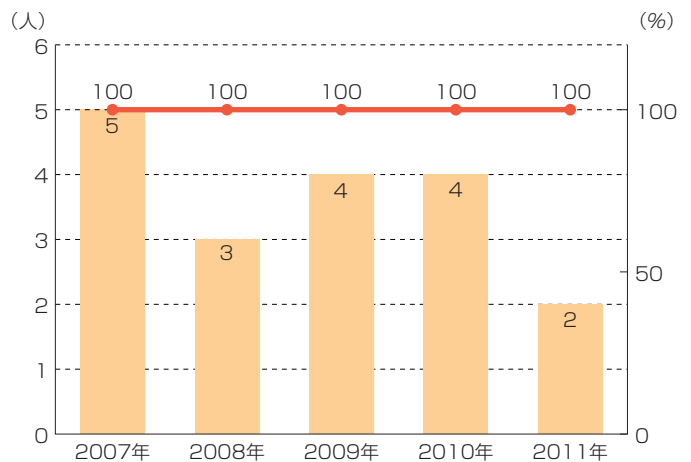
継続雇用制度

社員にとって働きがいのある会社であるために2006年4月より継続雇用制度を導入し豊富な知識、経験を有する人材の積極的な活用を図っています。

障害者雇用の促進

北陸電気工業グループでは、さまざまな障害を持つ社員が他の社員と一緒に働いています。職場環境面では、出入り口に傾斜を設けるなど対策を進めています。

■育児休業取得者数



社員の安全と健康確保

北陸電気工業グループでは、「社員の安全と健康を守る事を最優先にする」を基本に安全衛生の向上に努めています。

労働安全衛生

継続的な安全衛生活動を通じ事故の未然防止に取り組んでいます。また、5S活動・産業医による工場巡視を行い、職場環境の改善に努めています。

定期健康診断、成人病健診

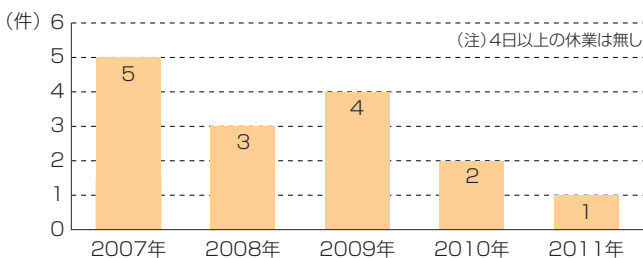
社員の健康管理については、時間外労働の多い社員や健康に不安を抱える社員に対する産業医の面談や定期健康診断に基づく健康指導などを行い、社員の健康増進を支援しています。

リフレッシュ休暇制度、メンタルヘルスケア

最近、企業で働く人の心の健康を維持することが大きな課題となっています。北陸電気工業グループでは、社員の悩みや心配事の相談に応じると共に公的機関のカウンセラー紹介や、管理者向けにメンタルヘルスセミナーを実施しています。

また、勤続年数によって連続で有休休暇を取得できるリフレッシュ休暇制度を設け、文字通り心身のリフレッシュに役立っています。

■労災発生件数

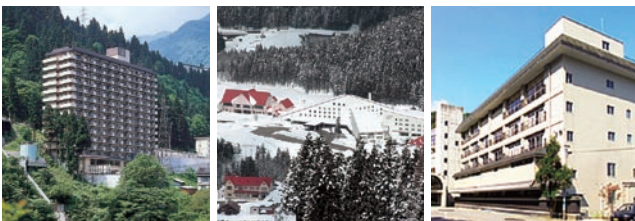


社員とその家族の豊かな生活を支援

社員とその家族の生活がより豊かで安定したものとなる様、さまざまな施策を行い支援しています。

福利施策

社員の自助努力や自立を支援する新たな福利厚生として従来型の保養所契約や各種慶弔金制度に加えて住宅の購入補助制度や一定の勤続期間の後、自らの活躍の場を他分野で選択される場合、それをサポートするセカンドライフプラン制度を導入しています。



宇奈月クリスタルバレー

立山国際ホテル

山田温泉 玄猿楼

人材の育成と活用

北陸電気工業グループでは社員の能力を最大限引き出すこと、そして業績や努力を公正に評価する事が重要であると考え、人材を育成・活用するコース制度やキャリア開発支援に注力しています。

- チャレンジコース制度…グローバル人材の育成
- キャリア開発支援……目標管理制度、自己申告制度
- 教育制度………通信教育、社内・外セミナー、語学教育(英語・中国語)
- 産学官連携………MEMS等の最先端電子技術の研究開発



英語会話



中国語会話

■社員のコメント



現在、私は総務部人事・教育グループにて、勤務管理・給与計算や社会保険関係手続など、幅広く業務をこなしています。様々な従業員と接する機会が多く、気を使うことが多々ありますが、やりがいをもって日々の業務に励んでいます。北陸電気工業では短時間勤務や育児休業制度など、ワークライフバランスを重要と考え、男女とも働きやすく、安心して働くことができる環境が整っています。



社会貢献活動

北陸電気工業グループは、地域社会との共生を考え、
良き企業市民として地域に密着した企業を目指し、
社会貢献活動に取り組んでいます。

地域清掃活動

**本社をはじめ各製造拠点や営業所で
地域清掃活動を実施しています。**

毎年定例となりました地域清掃活動として、2011年8月12日に本社周辺道路の清掃を実施いたしました。会社役員をはじめとした約250名の従業員が参加しました。また、各製造拠点や営業所においてもそれぞれの地域で清掃活動を実施しています。



本社周辺道路



宮崎ヒスイ海岸

インターンシップ活動

地元の大学生や高校生を中心に毎年実施。

北陸電気工業グループでは、地元の大学や高校を中心とした学生に就業体験の場を提供するインターンシップの主旨に賛同し毎年実施しております。2011年度も数回に渡り実施し多くの学生の方々にご参加いただきました。また、過去の当社インターンシップ経験者が入社いただけるといった実績も挙げてきております。

交通安全・防災運動への協力

年2回の交通安全運動週間において、各製造拠点にて通勤通学路で社員による交通安全指導を行うと共に防災訓練として消火訓練を定期的に行っております。



交通安全週間

献血活動

日本赤十字社、富山県赤十字血液センターへの協力事業として、献血活動を行っています。2011年度は70名以上の従業員が協力いたしました。

スポーツ活動支援

次世代を担う子どもたちの健全な育成と地域スポーツの活性化に寄与するため各種スポーツ活動を支援しています。



ジュニアチャンピオンズカップ

■協賛しているイベント(抜粋)

- ジュニアチャンピオンズカップ(サッカー) 協賛
- 地元ジュニアローラースキー大会協賛
- 大沢野少年すもう大会協賛

地域のイベントへの協賛

地元のイベントやお祭りに積極的に参加しています。

本社の所在地である富山県で開催されるイベントやお祭りには地域企業の一員であるとともに地域活性化の一助になることを願い積極的に協賛しています。



おわら風の盆



願念坊祭



猿倉山フェスティバル

■協賛しているイベント(抜粋)

- 大沢野花火大会
- 猿倉山フェスティバル
- 願念坊祭
- 神通峡美術展

環境方針

北陸電気工業グループは、持続可能な社会を目指し、
企業活動のあらゆる面で環境保全に配慮して行動する事を環境方針として宣言しています。

北陸電気工業グループ環境方針

環境理念

北陸電気工業グループは、地球環境の保全が人類共通の重要課題の一つであることを認識し、持続可能な社会の構築に向けて企業活動のあらゆる面で環境の保全に配慮して行動する。

環境方針

北陸電気工業グループは、電子部品メーカーとしてその生産に伴う事業活動及び製品、サービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境マネジメントシステム(EMS)に基づき環境保全活動を推進する。

環境目的・目標の制定及び継続的な改善

- ① 技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標の制定及び定期的な見直しを行う。
- ② 環境保全活動及び環境パフォーマンスの継続的な向上を図る。

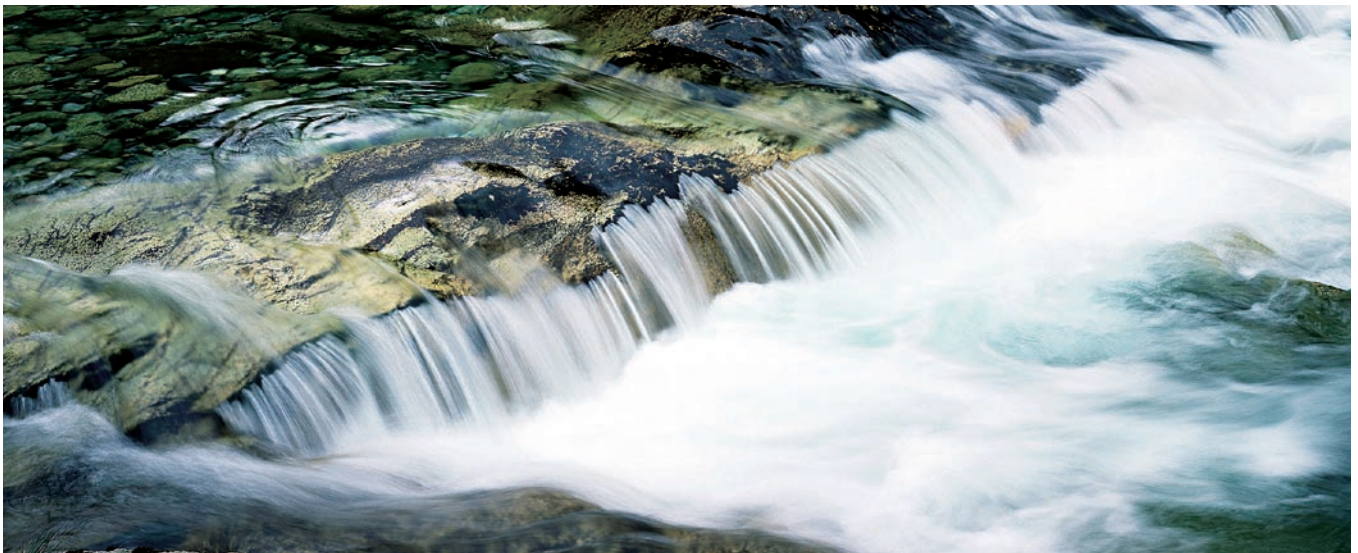
法規制及びその他要求事項の遵守

環境関連の法律、法規制、条例、その他受け入れを決めた要求事項を遵守するに止まらず、技術的、経済的に可能な範囲で自主基準を制定し、一層の環境保全に取り組む。

環境汚染予防及び環境負荷の低減

北陸電気工業グループは、環境汚染の予防に努めると共に、生物多様性の保全に配慮しつつ、事業活動及び製品・サービスが環境に与える影響の中で、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進する。

- ① 事業所施設のエネルギー及び資源の使用効率を高め、省エネルギー、省資源化を図る。
- ② 紙類の使用を削減すると共に、廃棄物の管理、適切な処理、削減、回収及びリサイクルを図る。
- ③ 生産プロセスでの取り扱い或いは製品に含有する事により環境に負荷を与えるようなオゾン層破壊物質及び有害化学物質等の削減・代替を推進する。



環境目標及び実績

北陸電気工業グループは、環境目標を設定して、環境管理実施計画を策定し、実施の評価と改善を繰り返すことで効果的な環境活動を推進しています。

2011年度の実績の概要は以下の通りです。

- ①環境関連法規制及び顧客要求事項への適合性については、違反、罰金、過料はありませんでした。また、環境問題に関しての訴訟、近隣からの苦情もありませんでした。
- ②LCA(ライフサイクルアセスメント)については、代表製品2品目について実施しました。
- ③環境負荷低減に対しては、CO₂排出量前年度比1%削減、及び廃棄物重量前年度比1%削減に取り組みました。結果として、総量では目標達成しましたが売上金額原単位では未達成となりました。
具体的な施策としては、CO₂排出量削減では、空調設備の合理化、コンプレッサーの合理化及び生産体制の見直しをメインに取り組みました。また、夏場の電力需給の厳しい状況において電力会社からの節電協力依頼に対して、平日昼間の電力のピークカットに積極的に取り組みました。廃棄物重量削減については、工程不良削減及び再資源化に努めました。
- ④事業所毎に地域に併せたクリーン活動を実施しました。

2012年度も引き続き目標達成のための取り組みを推進していきます。



環境マネジメント

北陸電気工業グループは、環境マネジメントシステム(EMS)の構築を全社的に進め、環境リスクを考慮しながら、事業活動のあらゆる側面から環境活動を推進し継続的に改善しています。

ISO14001認証取得状況

国内グループ一括にてISO14001認証取得。

北陸電気工業グループの国内生産拠点は、2003年3月にISO14001を認証取得しました。2006年2月には、弊社関連会社朝日電子(株)のEMS(環境マネジメントシステム)を北陸電気工業のEMSに統合し、国内グループ一括にてISO14001認証取得しました。また、海外の生産拠点においても2009年4月までに全ての拠点でISO14001認証を取得しています。

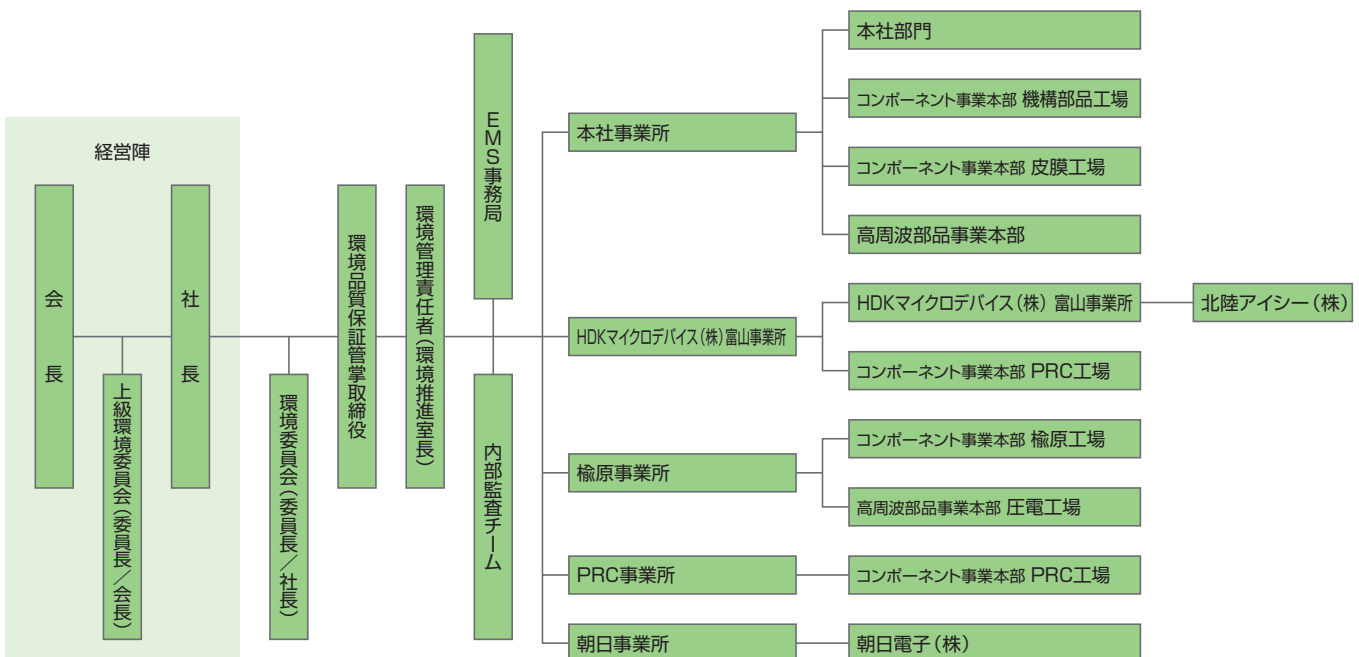
環境マネジメントシステム全体像

さらなる向上を目指し 様々な活動を進めています。

北陸電気工業グループでは、環境委員会を中心とした体制により、環境マネジメントシステムの維持向上及び環境品質の向上を目指し様々な活動を進めています。全社の環境方針や活動目標は各事業所へ展開され、各事業所は、これをもとに自身の目的目標を設定し環境保全活動を実行します。これらの活動経緯は内部環境監査のほか環境委員会でチェックされ是正が図られます。最後に各事業所の活動実績の把握と見直しを行い、次年度の全社目標に反映します。また、2008年度から活動実績の評価で優れた成績を収めた事業所に対し、環境表彰を行っております。



環境委員会風景



地球温暖化防止への取り組み

北陸電気工業グループでは、深刻な問題となっている地球温暖化の抑制を図るため、省エネ活動によるCO₂排出量削減に努めてきており、エネルギー源となっている電力、灯油、重油、LPG、ガソリン、軽油等の使用量を削減する事を中心に活動を進めています。

省エネ法の改正に伴い、省エネを積極的に進めるために、2009年度に全社的に省エネ管理体制の見直しを行い、新たに省エネ委員会を設置し省エネ活動を推進しています。

グリーン調達

北陸電気工業グループでは、グリーン調達に対する考え方をグリーン調達規定にまとめ、お客様にご理解を頂きながら規制されている含有化学物質を低減、削減するシステムを構築し、グリーン調達を推進しています。

グリーン調達の取り組み

お取引先様と一体となって、環境にやさしいものづくりに取り組んでいます。

環境にやさしいものづくりは北陸電気工業グループのみが環境負荷低減をするだけでは不十分であり、あらゆる資材を納入していただいているお取引先様にも環境負荷低減に取り組んでいただく必要があります。北陸電気工業グループはQ・C・D・S(品質・コスト・納期・サービス)の調達基準に加えてE(環境への取り組み)をお取引先様の評価する重要な項目としています。既に対応していただいているお取引先様には一層の推進をお願いし、未対応のお取引先様には北陸電気工業グループもそれを支援し、一体となった地球環境保全への取り組みをお願いしています。基本的にはコンプライアンスを満たすお取引先様だけから安全な資材を調達いたします。

特に、EUのRoHS指令、ELV指令及びREACH規則に対応するために、お取引先様から原材料・副資材の含有化学物質情報を提供していただき、当社指定使用禁止物質の不使用の保証を依頼しています。今後もお取引先様とともに国内外に通じる環境にやさしいものづくりをめざし、北陸電気工業グループのグリーン調達ガイドラインに対応していただけるお取引先様との取り引きを進めてまいります。

グリーン調達規定

クリーンな資材調達のため、毎年見直しを行っています。

クリーンな資材の調達を目指して、環境負荷がより少ない原材料・部品を優先して購入するため、2003年にグリーン調達ガイドライン(北陸電気工業グループとしての環境管理物質一覧表も含めています)を策定しました。その後、社内では、グリーン調達規定と名称を変え、毎年、見直しを行っています。



グリーン調達規定

グリーン調達

■環境管理物質一覧表

別紙1 北陸電気工業株式会社環境管理物質一覧表(含有禁止物質)

2011.7.1
北陸電気工業株式会社
環境推進室

含有禁止物質
(41種類の化学物質については含有禁止とする)

| NO. | JIG基準 | 材料/化学物質群 | 規制内容 | 主な参照法令 | 主な用途例 | |
|-----|-------|--|-----------------------------------|---------------------------------|--|--|
| 1 | R | カドミウム/カドミウム化合物 | 樹脂(ゴム、フィルム含む)、塗料、インキ、顔料、染料 | 意図的添加禁止かつ5ppm未満 | RoHS指令、REACH規則、ドイン化学禁止規則、オランダの規制令、デンマークの規制令、資源有効利用促進法、EU 包装材指令 | 顔料、耐蝕表面処理、電池、接点、光学材料、ホリ塩化ビニル安定剤 |
| | | | はんだ | 意図的添加禁止かつ20ppm未満 | | |
| | | | 包装材Cd,Pb,Hg,Cr(六価)の総合計 | 意図的添加禁止かつ100ppm未満 | | |
| | | | 上記以外 | 意図的添加禁止かつ100ppm未満 | | |
| 2 | R | 六価クロム/六価クロム化合物 | 包装材Cd,Pb,Hg,Cr(六価)の総合計 | 意図的添加禁止かつ100ppm未満 | EU 包装材指令、RoHS指令、資源有効利用促進法 | 顔料、塗料、インキ、触媒、防食表面処理、染料、防錆 |
| | | | 上記以外 | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | | |
| 3 | R | 鉛/鉛化合物 | 樹脂(ゴム、フィルム含む)、塗料、インキ、顔料、染料 | 意図的添加禁止かつ100ppm未満(揮発性成分がない状態) | プロポジション65、EU 包装材指令、RoHS指令、ドイン化学禁止規則、資源有効利用促進法 | 顔料、塗料、ゴム硬化剤、プラスチック安定剤、電池、ゴム加硫剤、はんだ、ガラス、快相合金、合金成分、各種樹脂添加剤 |
| | | | 包装材Cd,Pb,Hg,Cr(六価)の総合計 | 意図的添加禁止かつ100ppm未満 | | |
| | | | 上記以外 | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | | |
| 4 | R | 水銀/水銀化合物 | 包装材Cd,Pb,Hg,Cr(六価)の総合計 | 意図的添加禁止かつ100ppm未満 | EU 包装材指令、RoHS指令、資源有効利用促進法 | 電池、蛍光材料、接点、温度計、顔料 |
| | | | 上記以外 | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | | |
| 5 | R | トリブチルスズ=オキンド(TBTO) | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | REACH規則、化審法 | 塗料、顔料、防錆剤、冷媒、発泡剤 | |
| 6 | R | 三置換有機スズ化合物(トリブチルスズ(TBT)、トリフェニルスズ(TPT)を含む) | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | REACH規則、化審法 | 塗料、顔料、難燃剤、安定剤、n型ドーパント | |
| 7 | R | ポリ臭化ビフェニル類(PBB類) | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | RoHS指令、REACH規則、化審法 | 難燃剤 | |
| 8 | R | ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE類) | 意図的添加禁止かつ1000ppm未満 | RoHS指令、REACH規則、化審法 | 難燃剤 | |
| 9 | R | ポリ塩化フェニル類(POB類) | 意図的添加禁止 | 化審法、REACH規則、ドイン化学禁止規則 | 絶縁油、潤滑油、電機絶縁媒体、可塑性、塗料溶媒、熱媒体 | |
| 10 | R | ポリ塩化ナフタレン(塩素原子数が3以上) | 意図的添加禁止 | 化審法 | 潤滑油、塗料、プラスチック安定剤、電機絶縁媒体、難燃剤 | |
| 11 | R | ポリ塩化ターフェニル(PCT) | 意図的添加禁止 | 化審法 | 絶縁油、潤滑油、塗料、可塑性、電機絶縁媒体 | |
| 12 | R | 短鎖型塩化パラフィン(C10-C13) | 意図的添加禁止 | REACH規則、ノルウェー特定有害化学物質の使用等に関する規制 | グリス、金属加工油、ホリ塩化ビニル可塑性 | |
| 13 | R | アスベスト類 | 意図的添加禁止 | REACH規則、ドイン化学禁止規則、労働安全衛生法 | 電機絶縁体、充填剤、断熱材、磨耗剤 | |
| 14 | R | 特定アミンを形成するアゾ染料・顔料 | 意図的添加禁止かつ特定アミンとして30mg/kg(30ppm)未満 | ドイン日用品規制、ドイン化学禁止規則、REACH規則 | 顔料、染料、着色剤 | |
| 15 | R | オゾン層破壊物質(CFCs、HCFCs、HBFCs、四塩化炭素等) | 意図的添加禁止 | オゾン層保護法、モントリオール議定書 | 冷媒、消泡剤、発泡剤、洗浄剤、蒸気 | |
| 16 | R | ホルムアルデヒド | 繊維板、パーティクルボード、木工製品のみに適用 | ドイン化学禁止規則、ホルマリン法令(デンマーク) | 繊維板、パーティクルボード、木工製品等 | |
| 17 | R | ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC) | 意図的添加禁止 | EU規制、デンマーク指令、スイス化学品リスク軽減政令 | 冷媒、断熱材等の製品に搭載する用途 | |
| 18 | R | 特定ベンゾトリアゾール(2-(2H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ-tert-ブチルフェノールが対象) | 意図的添加禁止 | 化審法 | 紫外線防止剤、紫外線吸収剤、接着剤、充填材、塗料、インキ、樹脂材 | |
| 19 | I | 酸化ベリリウム | 意図的添加禁止 | WEEE指令、EU指令 | 合金、セラミック材料 | |
| 20 | I | ポリ塩化ビニル(PVC) | 意図的添加禁止 | | 樹脂材料、電線被覆材料、絶縁体 | |
| 21 | R | パーフルオロオクタンスルホン酸(PFOS) | 指定用途(業務用写真フィルム、半導体用のレジスト)以外 | 意図的添加禁止 | REACH規則、化審法 | 撥水剤、撥油剤 |
| 22 | R | 塩化コバルト | 意図的添加禁止 | REACH規則 | 乾燥剤(シリカゲル等)の湿度指示薬 | |
| 23 | R | フマル酸ジメチル(DMF) | 意図的添加禁止かつ0.1ppm未満 | 欧州委員会決議(2009/251/EC) | 防かび剤、乾燥剤 | |
| 24 | R | ヘキサクロロベンゼン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防菌剤 | |
| 25 | R | アルドリノ | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防菌剤、防虫剤、塗料 | |
| 26 | R | デルドリン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防菌剤、防虫剤、塗料 | |
| 27 | R | エンドリン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防虫剤、殺虫剤 | |
| 28 | R | DDT | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防虫剤、殺虫剤 | |
| 29 | R | N,N'-ジトリル-パラ-フェニレンジアミン、N-トリル-N'-キシリル-パラ-フェニレンジアミン又はN,N'-ジキシリル-パラ-フェニレンジアミン | 意図的添加禁止 | 化審法 | ゴム老化防止剤 | |
| 30 | R | 2,4,6-トリターシャリーブチルフェノール | 意図的添加禁止 | 化審法 | 酸化防止剤、潤滑油 | |
| 31 | R | トキサフェン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 殺虫剤 | |
| 32 | R | マイレックス | 意図的添加禁止 | 化審法 | 殺虫剤、難燃剤 | |
| 33 | R | ケルセン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防ダニ剤 | |
| 34 | R | ヘキサクロロブタ-1,3-ジエン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 溶媒 | |
| 35 | R | ペンタクロロベンゼン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 農薬 | |
| 36 | R | α-ヘキサクロロシクロヘキサン | 意図的添加禁止 | 化審法 | リンデンの副生物 | |
| 37 | R | β-ヘキサクロロシクロヘキサン | 意図的添加禁止 | 化審法 | リンデンの副生物 | |
| 38 | R | γ-ヘキサクロロシクロヘキサン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 農薬 | |
| 39 | R | クロルデコン | 意図的添加禁止 | 化審法 | 防虫剤、殺虫剤 | |
| 40 | R | ジブチルスズ(DBT)化合物 | スズ元素として材料中に1000ppm未満 | REACH規則 | PVC用安定剤、シリコン樹脂およびウレタン樹脂の硬化触媒 | |
| 41 | R | ジオクチルスズ(DOT)化合物 | スズ元素として材料中に1000ppm未満 | REACH規則 | PVC用安定剤、シリコン樹脂およびウレタン樹脂の硬化触媒 | |

(規制内容の閾値は均質物質に対しての許容数値)

北陸電気工業株式会社環境管理物質一覧表(含有管理物質、含有報告物質)

2011.7.1

北陸電気工業株式会社
環境推進室

含有管理物質

(当含有管理物質は、対象物品への含有の有無、含有量を把握しておかなければならない物質)

| NO. | JIG基準 | 材料/化学物質群 | 規制内容 | 主な参照法令 | 主な用途例 |
|-----|-------|--------------------------------------|--|-------------|-----------------------|
| 42 | | ハロゲン物質 (Br, Cl) | Br,Cl:それぞれ900ppm未満 Br+Cl: 1500ppm未満 | | 難燃剤 |
| 43 | | アンチモン/アンチモン化合物 | 1000ppm未満 | 安衛法、バーゼル条約 | 顔料、塗料、難燃剤、安定剤、n型ドーパント |
| 44 | | 赤燐 | 1000ppm未満 | | |
| 45 | R | フタル酸エステル類 (DEHP(DOP),DBP,BBP,(DIBP)) | 1000ppm未満 | REACH規則、安衛法 | 可塑剤、染料、顔料、塗料、インキ、接着剤 |
| 46 | R | フタル酸エステル類 (DIDP,DINP,DNOP,(DNHP)) | 1000ppm未満 | REACH規則、安衛法 | 可塑剤、染料、顔料、塗料、インキ、接着剤 |
| 47 | R | リン酸トリステクロエチル (TCEP) | 1000ppm未満 | REACH規則 | プラスチック、樹脂、繊維、布材料への難燃剤 |
| 48 | R | ヘキサブロモシクロデカン (HBCDD) | 1000ppm未満 | REACH規則 | プラスチック、樹脂への難燃剤 |
| 49 | R | 三酸化ニヒ素、五酸化ニヒ素 | 1000ppm未満 | REACH規則 | 液晶パネルのガラスの消泡剤、清澄剤 |

(規制内容の閾値は均質物質に対する許容数値)

| | | | | | |
|----|---|-----------------------------|-----------|--|---------------------------------------|
| 50 | | 砒素/砒素化合物 (三酸化ニヒ素、五酸化ニヒ素以外) | 1000ppm未満 | 安衛法、水質汚濁防止法、環境基本法、バーゼル条約 | 半導体基板、ガラス消泡剤、顔料、塗料、難燃剤 |
| 51 | | ビスマス/ビスマス化合物 | 1000ppm未満 | | 半導体、合金、半田材料 |
| 52 | I | 臭素系難燃剤 (PBB, PBDE, HBCDD除く) | 1000ppm未満 | バーゼル条約、WEEE指令付属書II | 難燃剤 |
| 53 | R | ニッケル/ニッケル化合物 | 1000ppm未満 | 安衛法、環境基本法、バーゼル条約 | 顔料、電池、表面処理剤、電極、ニッケルメッキ |
| 54 | | セレン/セレン化合物 | 1000ppm未満 | 安衛法、廃棄物処理法、環境基本法、バーゼル条約 | 感光体、顔料、ガラス着色剤、半導体、光電セル |
| 55 | | ベリリウム/ベリリウム化合物 (酸化ベリリウム以外) | 1000ppm未満 | 安衛法、バーゼル条約 | セラミックス原料、合金、触媒、時効硬化特性合金材料、パネ用合金材料、ほんだ |
| 56 | R | 放射性物質 | 意図的添加 | EU-D 96/29/Euratom、核原料物質、核燃料物質および原子炉の規制に関する日本の法、放射性障害防止法 | 光学特性(トリウム) |

(規制内容の閾値は個々の製品に対する許容数値)

含有報告物質

(当含有管理物質は、対象物品への含有の有無、含有量を把握しておかなければならない物質。含有していない場合、報告は不要。)

| NO. | JIG基準 | 材料/化学物質群 | 規制内容 | 主な参照法令 | 主な用途例 |
|-----|-------|--------------|------------------------------|---------|-------|
| 57 | | REACH規則 SVHC | 納入品の総重量における含有率が1000ppmを越える場合 | REACH規則 | |

お取引先様に対する教育

環境に対する考え方の説明を行っています。

毎年開催する購買方針説明会の中で、グリーン調達ガイドラインの説明を実施し、北陸電気工業グループの環境に対する考え方及び製品含有化学物質管理に対する要求事項を伝達し、理解を求めています。

又、重点取引先様へは直接訪問し、北陸電気工業グループの考え方について説明するとともに環境品質保証体制監査を実施しました。今後もサプライチェーンを通じた製品含有化学物質管理に取り組んでまいります。

■お取引先様に対する購買方針説明会風景





HOKURIKU

北陸電気工業株式会社

〒939-2292 富山県富山市下大久保3158 TEL 076-467-1111 FAX 076-468-1508

<http://www.hdk.co.jp/>



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用し、「水なし印刷」を採用しています。